

登録コード	F3A70640	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究Ⅱ					担当教員	田中 稔久 他	
英文授業名	Graduation Study Ⅱ					副担当	KIM KYOUNGOK	
単位数	3	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 2 Fカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学，人文科学，社会科学を横断的に取り込める普遍的基礎学力					⇔	研究テーマについてに十分な知識を身につけ，テーマの課題を解決できるようになる。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】豊かな感性と発想を基に，モノ作りや産業・社会システムの創出に取り組む構想力と創造的能力					⇔	研究計画を立案し，そのスケジュールをもとに研究成果をだすことができるようになる。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】繊維関連製品群に関するマーケティング情報の収集能力や情報分析能力					⇔	研究テーマに関連する論文等を調査し，研究テーマの背景を説明できるようになる。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】繊維関連製品の生産方法，品質管理，設計，計測・評価に関する知識と能力					⇔	繊維関連技術や理論を身につけ，研究テーマに応用することができるようになる。	
	2 6 Fカリ・先進感性・感性工コース，2 5 Fカリ・先進感性・感性工コース，2 4 Fカリ・先進感性・感性工コース，2 3 Fカリ・先進感性・感性工コース							
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維・感性工学に関する知識を基に，モノ作りを実施できる能力					⇔	研究成果について，モノ作りとの関連性や応用について説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	研究テーマに対して、指導教員のもとで能動的に研究を行なう。卒業研究発表会で発表し、卒業論文を提出する。							
(5)授業計画	研究テーマに合わせ指導教員と相談の上実施する。							
(6)成績評価の方法	研究態度、研究状況、研究成果、卒業論文提出、卒業研究発表などを総合して評価する。							
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない							
(8)事前事後学習の内容	日頃、各研究室で能動的に文献調査、実験、分析等に取り組んだ内容を研究室のゼミで議論して取りまとめること。普段の卒業研究への取り組みが大切である。各研究室では、通常1限から4限は最低取り組みを進めることを前提に各研究室でスケジュールが用意されている。週135時間の学習時間が最低必要であり、足りない分は5限の時間等も有効に利用して準備すること。							
(9)履修上の注意	進捗状況を指導教員に研究室ゼミ時に逐次報告すること。							
(10)質問,相談への対応	指導教員が主として受け付ける。							
(11)学生へのメッセージ	大学生活の集大成である。大学院へのステップでもある。知識欲と好奇心を主体的に旺盛に働かせないと、すばらしい結果は得られない。苦しいが楽しいものであると先輩は皆言う。未知に挑む魅力いっぱいです。							
(12)その他	特になし。							
【教科書】	特になし。研究に関連する学術論文を十分に読んで情報を収集する。							
【参考書】	指導教員の指示による。							